

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.54

2022 11月 - 2023 1月

2022 11/10 発行

TAKE FREE

Sinfonia

シンフォニア



ザ・シンフォニーホール

カウントダウン& ニューイヤーコンサート 2022-2023

Close Up

堤 剛 80歳記念 チェロ・リサイタル

オールスター 紅白オペラ歌合戦 2022

特級グランド・コンチェルト

ほか



〔バレエ〕
酒井はな



〔ピアノ〕
萩原麻未



〔ソプラノ〕
砂川涼子



〔テノール〕
樋口達哉



〔指揮〕
角田鋼亮

18歳以下限定・子供無料招待席のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響下において、劇場・音楽堂等で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験をする機会が多く失われている状況に鑑み、劇場・音楽堂等で行われる子供たちの実演芸術の鑑賞・体験等を提供する取組を文化庁支援のもと行う公演です。

この度、ザ・シンフォニーホールでは下記の公演で子供無料席を設け、18歳以下の皆様に公演にご招待いたします。

三次募集
開始！

【対象公演】

2022 12/3 (土) 17:00 開演 クリスティアン・ティーレマン指揮 ベルリン国立歌劇場管弦楽団 大阪公演  お申込期間: 受付中～11/30(水)16:00 まで 対象年齢: 中学生以上18歳以下 定員数: 327名	2022 12/15 (木) 19:00 開演 ザ・キングズ・シンガーズ コンサート  お申込期間: 受付中～11/30(水)16:00 まで 対象年齢: 小学生以上18歳以下 定員数: 329名	2022 12/17 (土) 14:00 開演 熱狂コンチェルト 必聴!! チェロ3大協奏曲  お申込期間: 受付中～11/30(水)16:00 まで 対象年齢: 中学生以上18歳以下 定員数: 326名
2023 1/6 (金) 19:00 開演 ハリウッド・ フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート!  お申込期間: 受付中～12/15(木)16:00 まで 対象年齢: 小学生以上18歳以下 定員数: 329名	2023 1/21 (土) 14:00 開演 五嶋みどりデビュー40周年× ザ・シンフォニーホール開館40周年 特別公演  ※一般販売席の受付は終了しました。 お申込期間: 受付中～12/15(木)16:00 まで 対象年齢: 中学生以上18歳以下 定員数: 329名	【対象者】 ※公演当日、対象年齢以上18歳以下の方 (公演によって異なりますので、ご注意ください。) 【子供無料席のお申込について】 ○公式ホームページ(https://www.symphonihall.jp/) の子供無料招待席専用ページよりお申込みください。○ご予約は先着順です。各公演の定員に 達し次第、終了とさせていただきます。当ホールより メールにてご来場可否のご連絡をさせていただきます。公演当日の詳細につきましては、メール に記載させていただきます。○必ず氏名・年齢 が確認できる身分証明書(学生証・マイナ ンバーカード・保険証など)の添付をお願いいたし ます。○同伴者が19歳以上の場合は別途チ ケットをご購入いただく必要があります。○お 座席はご指定いただけません。 ○小学生以下のお子様は昼・夜公演問わず、 保護者の同伴が必要となります。中学生～16 歳未満の方は夜公演にご来場の場合、保護者 の同伴が必要となります。



その他の詳細・
注意事項はコチラから



文化庁 子供文化芸術支援事業



- 02 ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2022-2023
&ニューイヤーコンサート 2023
- 06 オールスター 紅白オペラ歌合戦 2022
- 08 川井郁子 ドラマティックコンサート
- 09 堤 剛 80歳記念チェロ・リサイタル
- 10 特級グランド・コンチェルト
- 11 ザ・シンフォニーホール 開館40周年記念シリーズ 世界の巨匠とともに Vol.2
クリスティアン・ティーレマン指揮 ベルリン国立歌劇場管弦楽団 大阪公演
- 12 プラス de クラシック・フェスティバル
The Symphony Hall Super Brass×THE SOULMATICOS ゴスペル
- 14 関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」特別演奏会
大植英次指揮 躍動の第九
第九 de クリスマス
21世紀の第九
- 16 ザ・キングズ・シンガーズ コンサート
藤岡幸夫のクリスマス・ファンタジア
古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック スtrings「愛のクリスマス」
ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2022
- 18 マリア・ジョアン・ピリス ピアノ・リサイタル
- 19 The Symphony Hall×関西4オケスペシャルコンサート
Vol.4 大阪フィルハーモニー交響楽団
- 20 The Symphony Hall Big Band Vol.19〜タンゴ・タンゴ・タンゴ〜
- 21 シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ・リサイタル
- 22 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート!
- 23 三浦一馬 五重奏団《PIAZZOLLA Standards & Beyond》
- 24 イタリア交響楽団
- 25 THE WINTER CONCERT〜クリスマスの贈り物〜Bach&Tchaikovsky
ニューイヤー祝祭コンサート オペラアリアとバレエの饗宴 Vol.8
- 26 ABCテレビ主催公演・イベント情報
- 30 日本センチュリー交響楽団
- 32 welcome more musicians!
- 33 ホールトビックス
- 34 堀江政生のシンフォニー・アワー Vol.54
- 35 Concert Calendar 2022.11~2023.1

※掲載公演は、やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。

11月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する11月24日(木)~11月30日(水)の期間は、「お電話」と「窓口」の営業時間を10:00~18:00とさせていただきます。※上記以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00~16:00(火曜定休)とさせていただきます。

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話: ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休)
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。
詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonyhall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonyhall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪府北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[@symphonyhall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報の利用については、個人情報に関する法令、規範に準拠して適切に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的にのみ使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発、改善を目的とした調査、研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報の安全に管理されるよう適切に監督します。

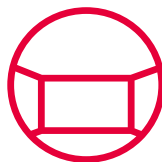
The Symphony Hall

へご来場のお客様へ

引き続き、感染症拡大防止対策へのご協力をお願い致します。

お客様へのお願い

マスク着用



館内では上演中も含め、常時マスクの着用をお願い致します。

体温測定



サーモグラフィーや検温器により、発熱の症状がある方はご入場をお断りさせていただく場合がございます。

手洗い・手指の消毒



こまめな手洗い、手指の消毒による感染予防をお願い致します。

体調確認



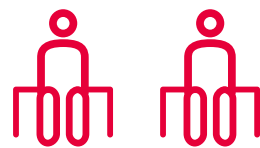
発熱や咳、咽頭痛などの症状および倦怠感や息苦しさがある方など、体調に不安がある方はご来場をお控えください。

館内はお静かに



大きな声での声援や、館内での会話は控え下さい。

ご自席でのご鑑賞



他のお客様のお座席や、使用していないお座席へのご移動は、固くお断り致します。

アンコール曲の掲示

お客様の密集を防ぐため、アンコール曲は会場内に掲示せず、ザ・シンフォニーホールのTwitterでお知らせ致します。ぜひチェックしてください。



The Symphony Hall

カウントダウン&ニューイヤーの見どころ

1

盛大で華やかなザ・シンフォニーホールの カウントダウン&ニューイヤーコンサート

2015年から恒例となっていたザ・シンフォニーホールのカウントダウン&ニューイヤーコンサート。毎年豪華なアーティスト、素晴らしい音楽とともに年越しができることでこれまで人気を博してきました。今回は3年ぶりのカウントダウンを行います。たくさんのお客様と分かち合う、年明けの瞬間、感動のシーンにご期待ください。

2

日本を代表するエトワール 酒井はなが初登場！ 新振付で「ボレロ」を披露！

バレエダンサー 酒井はなの出演が決定！ザ・シンフォニーホールに初登場する彼女は、1997年の新国立劇場オープンからプリンシパル（首席）として数々の主役を務め、観るものを魅了し続けてきました。紫綬褒章（2017年）をはじめとした数々の賞歴を持つ彼女が、オーケストラの名人芸を楽しめるラヴェルの名曲「ボレロ」に初挑戦します。皆に愛されるこの曲は、元々は舞踏家イダ・ルビンシュテインの委嘱でバレエ曲として作曲された名曲。今回、振付家・島地保武氏による本公演のための新たな振付を世界初演します。貴重な機会をお見逃しなく！



3

日本発「世界で愛される」^{だっさい} 獺祭！ 祝い酒に登場！

3年ぶりに帰ってきたカウントダウン&ニューイヤーコンサート。新年の門出を祝して、これまでお客様から好評を博してきた、祝い酒も復活します！今回ご用意する祝い酒は、「獺祭」です！！「獺祭」は山口県の旭酒造が誇る人気ブランドで、酒米の王様と言える「山田錦」のみを使用。フルーティーな味わいが特徴で、その飲みやすさから人気を集め、さまざまな分野の企業とのコラボレーションも話題を呼んでいる銘酒です。新年を素敵な音楽と共に迎えた後に、美味しいお酒で乾杯しましょう！



協力：旭酒造株式会社

ピアノ 萩原麻未



©Marco Borggreve

で、客席から拝見していましたし、私は新国立劇場でバレエのピアニストのアシスタントのような仕事もしていたので、オーケストラピットから酒井さんを拝見していました。今回、同じステージで共演できるのは、とても光栄なことです。

——皆様が持っている、大阪の印象を教えてください。

樋口 機会は少ないですが、大阪へは時々仕事でうかがいます。お笑いが大好きで、なんばグランド花月へ何度か足を運んだことがあるんですよ！

角田 私は大阪フィルの指揮者を5年間やっていました。人情

にあふれていて、素敵な街です。買い物していたりホテルの近くにいたりすると声をかけてくださる方もいました。

萩原 地元の広島が土砂災害に遭った時期、コンチエルトを弾かせていただき、アンコールの前にお客さまに募金のお願いをしました。たくさんのお客さまが募金してくださり、親身になって考えてくださる大阪の皆さまのあたたかさや懐の深さに感動しました。

——最後に、この公演を楽しみにしているお客さまへメッセージをお願いします。

樋口 ぜひ、カウントダウンコンサートの感動と一緒に味わっていただきたいですね。そして、お友だちに「良かったよ」と伝えていただきたく思います。クラシック音楽ファンの人口を増やしたいと思っています。僕は諦めていません！日本人はお祭り好きですから、今回

Program

レハール：ワルツ「金と銀」
グノー：歌劇「ファウスト」より“宝石の歌”
ヴェルディ：歌劇「リゴレット」より“女心の歌”
ブッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より“愛らしい乙女よ”
R.コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」op.35より 第3楽章 “若い王子と王女”
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18より 第3楽章
ラヴェル：ボレロ
ブッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん”
ブッチーニ：歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”
ブッチーニ：歌劇「マノン・レスコー」より 第3幕への間奏曲（12/31のみ）
J.シュトラウスⅡ世：ワルツ「美しく青きドナウ」op.314（1/1のみ）
レスピーギ：交響詩「ローマの松」より “アッピア街道の松”

のコンサートは必ず共感していたけると信じています。フェスというノリで、みんなで一緒に盛り上がりたていきたいと思います。ぜひ我々と「カモン！」という感じですね！

角田 （笑）。ごちそうのような音楽作品をみなさまと味わえたら嬉しいです。ザ・シンフォニー

ホールはラグジュアリー感満載の素敵なホールですので、ぜひ足を運んでいただきたいですし、私自身もそこで年を越せるのが楽しみです。

砂川 ザ・シンフォニーホールは、響きがよく、歌っているのも隔々まで息遣いが届いているのを感じます。包み込まれる温かさ

魅力的ですし、この素敵なホールで、私たちとスペシャルな時間を過ごしましょう！

萩原 2022年の最後の1日と2023年の始まりの日という大切なモーメントを、大阪の皆さまと共有できることを、今から心待ちにしております。

（取材：文 道下京子）

ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2022-2023

2022.12/31(土) 10:00PM

※18歳未満の方は保護者の同伴が必要です。

ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート 2023

2023.1/1(日) 3:00PM

【指揮】角田綱亮 【ピアノ】萩原麻未 【ソプラノ】砂川涼子 【テノール】樋口達哉

【バレエ】酒井はな 【振付】島地保武

【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

【司会】堀江政生（朝日放送テレビアナウンサー）

両日 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円（税込）

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



[指揮] 粟辻 聡



[管弦楽] 大阪交響楽団

2022.12/22 (木) 6:30PM 発売中

[指揮] 粟辻 聡
[管弦楽] 大阪交響楽団
[司会] 堀江政生(朝日放送テレビ)、東 留伽(朝日放送テレビ)
S 8,800円 A 7,700円(税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] 一般財団法人ザ・シンフォニーホール芸術文化振興財団
[共催] 公益社団法人大阪交響楽団
[後援] 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

**今年は紅か白か？
勝負を決めるのはお客様！！**

過去の紅白勝負

2018年…**紅** 2020年…**紅**
2019年…**白** 2021年…**白**



白組



[キャプテン] 田中 勉

ヴェルディ
歌劇「リゴレット」より
“悪魔め鬼め”



伊藤 友祐

ロッシーニ
歌劇「セヴィリアの理髪師」より
“私は町の何でも屋”



大谷 圭介

レオンカヴァッロ
歌劇「ザザ」より
“ザザ、かわいいジプシーの娘よ”



小餅谷 哲男

ビゼー
歌劇「カルメン」より
“花の歌”



西尾 岳史

ヴェルディ
歌劇「オテッロ」より
“イヤーゴの信楽”



榎 貴志

ミッシーニ
ミュージカル「ラマンチャの男」より
“見果てぬ夢”



松澤 政也

ニーノ・ロータ
映画「ゴッドファーザー」より
“愛のテーマ”



松本 薫平

プッチーニ
歌劇「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ”



水口 健次

レオンカヴァッロ
歌劇「道化師」より
“衣装をつける”



湯浅 貴斗

ロッシーニ
歌劇「セヴィリアの理髪師」より
“陰口はそよ風のように”



オペラ 歌合戦 2022

この対決を聴かずして、年は越せない！
オールスター

「関西の音楽界をさらに元気に」というテーマを掲げて2018年にスタートした本公演。今号ではキャプテンの田中 勉と斉藤言子のコメントとともに、変化と進化を見せる、5回目の開催となる今回について、紹介していく。

生の声で披露する
ミュージカル音楽に期待を！

コロナの影響でコンサートの中
止が相次いだ2020年も、十分
な感染症対策をとって開催し続
けた「オールスター 紅白オペラ歌
合戦」。キャプテンを務める田中 勉
と斉藤言子は「初回から途切れる
ことなくこれまで開催し、ザ・シ
ンフォニーホールの年末の風物詩と
して定着してきた」と自信を持っ
て語る。

そして、両者ともに「関西を中
心に活動する歌手が、一同に会し
て協演することは、他にはない」
と語るこの演奏会に、今年はある
変化が見えてきた。

「今年はプログラムの中にミュー
ジカル音楽を取り入れました。私
は昨年、シューベルトの『魔王』を
歌ったのですが、それがきっかけに
なったかもしれません。オペラ歌手
が歌うミュージカル音楽。オペラ
歌手は生の声で披露することに
なりますので、その違いを期待し
ていただきたいと思います。斉藤先生は
『サウンド・オブ・ミュージック』を
歌われますよね。これはとても楽
しみです。斉藤先生にはパイプオ
ルガンがあるところで歌ったら？
と提案しています(笑)(田中)」
「今回で5回目。ある意味節目
ですよね。この演奏会は私にとつ
て、声の橋渡し。いわゆる、次
世代にバトンタッチしながら、継
続していくという使命がありま
す。今回、ミュージカル音楽を取
り入れたのは、その使命のひとつ。
ミュージカル音楽は今も昔も変わ
らずファンがたくさんいて、幅広い
世代の方に愛されていますよね。
今回、ミュージカル音楽が好き
な方にも是非来ていただきたい。そ
して、メインのオペラのファンにも
なっていたきたいという想いがあ
ります。オペラ歌手が歌うミュー
ジカル音楽、その違いも楽しんで
いただきたいと思います(斉藤)」

紅組



[キャプテン] 斉藤 言子

リチャード・ロジャース
ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より
“すべての山に登れ”



周防 彩子

グノー
歌劇「ロメオとジュリエット」より
“私は夢に生きたい”



十合 翔子

ロッシーニ
歌劇「セヴィリアの理髪師」より
“今の歌声は”



田中 友輝子

サン＝サーンス
歌劇「サムソンとデリラ」より
“あなたの声に私の心は開く”



梨谷 桃子

プッチーニ
歌劇「蝶々夫人」より
“ある晴れた日に”



並河 寿美

グノー
歌劇「ロメオとジュリエット」より
“ああ、なんという戦慄が”



畑 友実子

マスネ
歌劇「エロディアド」より
“彼は優しい人”



堀口 莉絵

ヴェルディ
歌劇「サン＝ボナファチオ伯爵オペラ」より
“誰がこの熱き思いを戻してくれるのか”



松浦 優

ビゼー
歌劇「カルメン」より
“何を恐れることがありましよう”



湯浅 契

プッチーニ
歌劇「ラ・ボエーム」より
“私の名はミミ”



堤 80 歳記念
チェロ・リサイタル
楽界を代表する重鎮による
進化を見せる記念リサイタル

古典から現代作品まで
幅広いアプローチで進化を続ける

2022年4月23日のザ・シン
フォニーホールは、大きな感動に
包まれていた。我が国を代表する
指揮者・外山雄三の90歳を祝うコ
ンサートが開催されたのである。
この晴れがましい舞台には、前橋
汀子、清水和音ら錚々たる音楽家
たちが集まったが、ドヴォルザークの「チェロ協奏曲」より第3楽
章を大阪交響楽団と共演し、名指
揮者の記念年に華を添えたのが、
チェロ奏者の堤剛である。

1942年生まれの堤は、現在
80歳を超えるが、チェリストとし
てスケールの大きい味わいのある
演奏を聞かせてきた。古典から現

代までの幅広いレパートリーを誇り、知的な解釈に裏打ちされた至芸は、きわめて高い評価を受けており、2009年には秋の紫綬褒章を受章。また同年、「天皇陛下御在位二十年記念式典」にて御前演奏を行い、2013年には文化功労者にも選出された。

名演奏家として、さらに楽界を代表する重鎮として、堤はゆるぎない地位を築いてきた。昨今のチェロ界は、横坂源、上野通明をはじめ、若手の躍進で活況を呈しているが、こういった好状況は、堤のような先達が築いてきた確かな歩みの上に成り立っているといっても過言ではない。

堤による待望のリサイタルが、

グを組み、今回はチェロの名作ソナタが3曲プログラミングされた。

まずベートーヴェンの「チェロ・ソナタ第4番ハ長調」では、堤ならではの格調高い演奏の魅力が際立つだろう。そしてR. シュトラウスの壮麗な「チェロ・ソナタハ長調」、そしてモダンな響きの中で、チェロとピアノが劇的な対話をかわすプロコフィエフの「チェロ・ソナタハ長調」。チェコの作曲家マルティヌーの「ロッシニの主題による変奏曲」は、オペラ『ジプシのモーゼ』の旋律をもとにした4つの変奏が展開する作品で、



[チェロ]堤 剛 [ピアノ]河村尚子

ベートーヴェン:チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 op.102-1/R.シュトラウス:
チェロ・ソナタ ヘ長調 op.6/権代敦彦:無伴奏チェロのための“Z”ゼータ
op.186 (2022) ~堤春恵委嘱作品~ /プロコフィエフ:チェロ・ソナタ ハ
長調 op.119 /マルティヌー:ロッシニの主題による変奏曲 H.290

2023.4/30 (日) 2:00PM
S 7,000円 A 5,000円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/26(土) 一般発売:11/27(日)

ソナタの骨太の構成とはひと味違うイタリア・オペラの洒落な魅力にあふれた粹な一曲だ。

内外で活躍中の作曲家・権代敦彦による新作にも大きな期待がかかる。堤は古典作品の確かな解釈者であると同時に、かねてより現代作品や新作初演にも積極的にとりこんできた。武満 徹や細川俊夫らのチェロ作品は、堤の名演で、広く知られるようになったといえよう。独自の音楽観に根ざした権代の新作が、堤によっていかに表現されるか。東京、大阪で開催される今回のツアーで世界初演となるので、こちらは当日のお楽しみである。

(文 伊藤制子)

（文 伊藤制子）

I k u k o K a w a i

川井郁子

ドラマティックコンサート
with オーケストラ響〜ひびき〜

Interview

多彩に繰り広げられ
お客様の五感を刺激
—— 今回のコンサートのコンセプトを教えてください。

和楽器隊との混合オーケストラです。西洋のオーケストラに、和楽器がエッセンスとして入れられるケースはよく見られますし、そのような曲もあります。でも、このコンサートでは西洋のオーケストラと和楽器隊が対等に融合しています。このような和洋の混合

る“初の試み”
するコンサート

オーケストラは、非常に珍しい例
で、和楽器の持つパワーや飛翔感
が活かされるところを表現したい
と思いました。使用する和楽器は、
和太鼓、尺八、篠笛・能管、箏、
琵琶、箏、笙、鼓です。

打楽器と管楽器、そして弦楽
器…まさに西洋のオーケストラと
同じような編成ですね。プログラ
ムについて、古今東西の名曲とと

ださい。

演奏する私たちですが、お客様にも新たな発見や驚きを感じていただきたいという気持ちを強く持っています。

私はピアソラに憧れていて、特に彼の「革命児」という部分に惹かれますね。私も革命を起こすような、新たな扉を開くことを大きな目標としています。

——読者のみなさまにメッセージをお願いします。

「響」という、これまで日本にな

もに川井さんのオリジナル曲も披露されるんですね。

和洋混合と、一般的なオーケストラのみの編成、両方で名曲を聴いていただきます。それから、ドラマティックな世界観を表現する時には映像も取り入れ、五感で楽しんでいただくような演出になっています。

——映像をどのように使われるのでしょうか？

例えば、「展覧会の絵」を和の世界にアレンジした《日本の情景》という作品があり、葛飾北斎の絵と一緒に楽しんでいただきます。それから「夕顔」～《源氏物語》より～では、日本舞踊で光源氏を舞っていただきます。

かった新しい音楽の形をお見せする関西初のコンサートです。「ヴァイオリンⅡクラシック」「和Ⅱ静かで厳かなもの」というイメージをお持ちの方も多かもしれませんが、それをよい意味で裏切るような、「和」と「西洋」とがコラボレーションすることで生まれる、大きな化学反応を感じていただけたと思います。きつと皆さまの想像を超えるようなドラマティックでパワフルな世界を感じていただけると確信していますので、是非、幅広い世代の皆様にご来場いただきたいと願っています。

（取材・文 道下京子）



【ヴァイオリン】**川井郁子** [オーケストラ]**オーケストラ響〜ひびき〜**
ホワイテレジェンド〜白鳥の湖より〜/タ顔〜源氏物語より〜/プレリユードとアレグロ
/展覧会の絵〜日本の情景〜/哀しみのグラツィア/インスティンクト・ラブソディー
/時の彼方に/さくら/リボーン/ジュピター/赤い月/波の記憶/新日本紀行/
NHK大河ドラマより『麒麟がくる』 ほか ※予定曲目

2023.3/21(火・祝) 3:00PM
全席指定 S 6,500円 A 5,000円 (税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール
先行予約:11/26(土) 一般発売:11/27(日)



ピアノ 坂田知樹



ピアノ 桑原志織



特級

リレーインタビュー
Interview

feat. 谷 昂登

グランド・コンチェルト

あの興奮再び！注目のピアニストによる名曲選！

撮影：鈴木久美子

初挑戦 グリーグピアノ協奏曲で
ザ・シンフォニーホールデビュー

全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）のコンペティション特級部門の上位入賞者たちによる「特級グランド・コンチェルト」の第2弾が、2022年に引き続き2023年5月3日に開催される。出演は谷昂登、桑原志織、坂田知樹。この3人の気鋭のピアニストたちが藤岡幸夫指揮、関西フィルと共演し、三つの協奏曲が一公演で繰り広げられる。

その中で、トップバッターとして登場するのが谷昂登だ。谷にとってザ・シンフォニーホールのみならず、待望の関西デビューとなる。

「藤岡先生や関西フィルさん、素晴らしい共演者の皆様に恵まれ、楽しみという思いでいっぱいです」

2021年、日本音楽コンクールで優勝を果たしセンセーショナルな話題をさらった。3歳から師事した先生がモスクワ音楽院で学んだ経歴の持ち主であったことから幼い頃より多くのロシア作品に触れ、学んだ。そんな谷もグリーグはもとより、北欧の作曲家作品に初めて挑むという。

「グリーグの協奏曲には北欧独特の旋律や舞曲的なリズムがたくさん出てきますが、ロシアのものとはまた違って、民俗音楽の

特色もこれだけ細分化されているのだと、多くのことが新鮮に感じられます」

現在、来年のドイツ留学を目前に、普段はシューマンやブラームスなどのドイツ作品を中心に勉強中だという。

「グリーグもドイツで勉強していて、クララ・シューマンの演奏に接していたようです。この協奏曲もシューマンのピアノ協奏曲に冒頭部分がとてもよく似ていますし、調性も同じなんです」

ドイツ作品への興味の広がりとともにそんな関係性にも出合った。

2020年のピティナの特級ファイナルのステージでは、幼い頃から憧れていたラフマニノフの協奏曲第3番を演奏し、銅賞を獲得。それが翌年の日本音楽コンクール優勝への大きな足掛かりとなったのは間違いない。

「ピティナのコンペティションで



は、一つひとつの課題を着実にクリアしてゆくことで大きく成長することができました。ただ、何と云っても、一緒に学び、演奏してきた仲間たちや先輩たちが今もこうして身近な存在であることが一番幸せだと感じています」

その憧れの先輩というのが、他でもない、今回共演する桑原であり、坂田だ。ともに切磋琢磨してきた良きライバルであり、良き同志たちが一つの舞台を共有し、演奏を繰り広げるその姿を見届けることができるのは、我々聴衆としても何と幸せなことだろう。

（取材・文 朝岡久美子）

[指揮] 藤岡幸夫 [ピアノ] 谷 昂登、桑原志織、坂田知樹
[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

グリーグピアノ協奏曲 イ短調 op.16 (谷 昂登) / シューマンピアノ協奏曲 イ短調 op.54 (桑原志織) / ラフマニノフピアノ協奏曲 第1番 嬰ヘ短調 op.1 (坂田知樹)

2023.5/3(水・祝) 2:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 学生 3,500円 (税込)

[お問い合わせ] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583

[主催] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 / ザ・シンフォニーホール

先行予約: 11/24(木) 一般発売: 11/27(日)

TheSymphonyHall 開館40周年記念シリーズ

世界の巨匠とともに

ブラームス
交響曲 第2番／第1番

STAATSKAPELLE
BERLIN
1570
STAATSOOPER UNTER DEN LINDEN

©Jakob Tillmann

©Peter-Adamik

クリスティアン・ティーレマン 指揮
ベルリン国立歌劇場管弦楽団
(シュターツカペレ・ベルリン)

大阪公演

バレンボイム降板・ティーレマンが代役に急遽決定!!



先日ダニエル・バレンボイム氏が公式SNSにて、健康状態の悪化により指揮活動の一時休止を発表しました。その後も日本公演に対する想いから健康の回復に努めてきましたが、医師の診断により、日本公演の参加を断念する決断に至りました。それを受け、本公演は世界最高峰の一角を担う、クリスティアン・ティーレマン氏が代役として指揮をすることとなりました。

ザ・シンフォニーホールは、ダニエル・バレンボイム氏の一日も早い回復を願うとともに、

急遽、代役を務めて下さることとなったクリスティアン・ティーレマン氏に心より感謝を申し上げます。お客様にはご心配とご迷惑をおかけいたしますが、クリスティアン・ティーレマン指揮とベルリン国立歌劇場管弦楽団による最高峰の演奏をご期待ください。

すでにチケットをご購入されたお客様は、
お持ちのチケットでご入場いただけます。

【指揮】クリスティアン・ティーレマン

【管弦楽】ベルリン国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ・ベルリン)

ブラームス:

交響曲 第2番 二長調 op.73／交響曲 第1番 ハ短調 op.68

2022.12/3 (土) 5:00PM

発売中

S 28,000円 A 売切 B 売切 (税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール



THE SOULMATICSディレクター 池末 信 Interview 12/30 (金) 3:00PM

×THE SOULMATICS ゴスペル

年末スペシャルは、国内外で奇跡の歌声と称賛されるゴスペルグループとのタッグが実現！

ゴスペルには言葉を超えるチカラがある。それは、命の葉。

2023年も間近に迫る12月30日、ザ・シンフォニーホールは年末の華やかにふさわしい珠玉の「吹奏楽×ゴスペル」公演をお届けする。吹奏楽を担当するのは、今年デビュー公演を行ったばかりのThe Symphony Hall Super Brass (以下TSHSB)。名門Osaka Shion Wind Orchestraの精鋭を中心とした実力派で、今回はザ・シンフォニーホール音楽総監督としてもおなじみの喜多弘悦が指揮。そして歌唱は、世界的ゴスペルグループとして名高いTHE SOULMATICSをキャストイング。ここでは、その創設者&ディレクターの池末信に、公演に向けた意気込みや聴きどころを語ってもらった。

池末によると、THE SOULMATICSの活動は四半世紀以上に渡るという。

「私が留学先のバークリー音楽院から帰国後、1992年頃に日本の滋慶学園グループの専門学校にて前身団体を立ち上げ、1997年頃に卒業生を中心に本格活動しました。毎年レパートリーを最

低30曲以上増やし続けて、現在は500曲以上。五木ひろしさんや平井堅さんの録音に参加したり、海外公演を度々行ったり、ミュージカル「RENT」に出演したりと、活動は多岐に渡っています。また我々は現在、東京、大阪、福岡に3つの拠点があるのですが、そのメンバーを中心とした選りすぐりの約80名を連れていきますから、楽しみにしていただきたいです」

一方のTSHSBも約80名の大編成を予定。そのコラボへの想いや、指揮者の喜多の印象を尋ねると。

「これだけ大規模なバンドと共演するのは初めてなので、細胞が活性化するような迫力のサウンドで、コロナからの本格的な復活を感じていただけたと思います。またジュリアード音楽院出身の喜多さんとのお付き合いは20年以上に渡りますが、経営者としても、指揮者としても、本物をこぞ知っています」

そして予定演目には、大ヒット映画「天使にラブ・ソングを…」から「ロッキー」をはじめとした、誰もが知る名曲が多数並ぶ。

「我々の公演ジョイフルジョイ

[指揮]喜多弘悦 [演奏]The Symphony Hall Super Brass
[ゴスペル]THE SOULMATICS

ハレルヤ/Ain't No Mountain High Enough/聖者の行進/永遠/ロッキーのテーマ/You Raise Me Up/The Place of Availability/ジョイフルジョイフル ほか

2022.12/30(金) 3:00PM

一般 6,600円 18歳以下 3,300円 (税込) ※4歳以上入場可能

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

(取材・文 渡辺謙太郎)

フルは、常に、来ていただいた方のためのもの。わかりやすく楽しいゴスペルには言葉を超えるチカラがあって、それは、命の葉になります。過去の来場者からは、命を絶とうとしていたけれど、「私は生きていいのですね」とか、「誰かが待っていてくれると思えました」といった感想を数多くいただきました。今回のお客様にも、終演後には、「来年はきっといい年になる！」と思っていただけという、全身全霊のサウンドをお届けできるように頑張ります!!」



きらびやかな光のアートで
さらに楽しい!
プロジェクションマッピング付き!

The Symphony Hall Super Brass

ザ・シンフォニーホール スーパーブラス

~cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra~

2ヶ月連続で
“めっちゃ楽しい”



指揮 喜多弘悦

ブラスdeクラシック・フェスティバル

11/30 (水) 7:00PM

ブラス×合唱×プロジェクションマッピング×パイプオルガンの大スペクタクル!

まさに、フェスティバルに相応しいプログラムで挑む!

7月に開催したデビュー公演以降、ミュージカル、アニメ、映画音楽をテーマにしてコンスタントに公演を重ねてきたThe Symphony Hall Super Brass (以下TSHSB)。様々なジャンルの音楽を展開していくことで、すべての音楽ファンに吹奏楽の魅力を幅広くアプローチしていく。ザ・シンフォニーホールの開館40周年という節目に誕生したTSHSBは、11月、12月と2ヶ月連続、2022年最後まで、ド派手にステージを繰り広げていくので、注目してほしい。

11月のテーマは、クラシック!そして、「フェスティバル」というタイトルのもとに、プログラムは、レスピーギの「ローマ三部作」と呼ばれる交響詩から「ローマの松」より、続いて「ローマの祭り」より主題祭という、TSHSBならではの賑やかなプログラムからスタートする。

今回も見どころ、聴きどころが盛りだくさんだ。クラシック通でなくても聴き馴染みのある、ドヴォルザーク「新世界より」第4楽章、ビゼーの「アルルの女」で高らかな響きを聴かせたあとは、ボロディンの「イーゴリ公」よりダッタン人の踊り、ヴェルディの

[指揮]喜多弘悦 [オルガン]畠田一樹
[演奏]The Symphony Hall Super Brass ほか

レスピーギ 交響詩「ローマの松」より/レスピーギ 交響詩「ローマの祭り」より 主題祭/ボロディン「イーゴリ公」より「ダッタン人の踊り」※/ドヴォルザーク 交響曲 第9番「新世界より」第4楽章/ビゼー「アルルの女」より「ファランドール」/ヴェルディ 歌劇「アイダ」より 凱行進行曲※ ほか ※合唱付き

2022.11/30(水) 7:00PM

一般 6,600円 18歳以下 3,300円 (税込) ※4歳以上入場可能

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]大阪アートエージェンシー

発売中

歌劇「アイダ」より凱行進行曲で、大人数の合唱が入る。めっちゃ楽しく、そして、ド派手に、をモチーフにしているTSHSBらしい、規格外、迫力満点のクラマックスに期待が高まる。

さらに今回はオルガニスト畠田一樹の出演も決定しており、とても贅沢!TSHSBのコンサートには欠かせないプロジェクションマッピングの演出もあり、大スペクタクルに圧倒されること間違いなしのコンサート。奏者もお客様も、みんなで一緒に一体となって大盛り上がりしたい!

TheSymphonyHall 2022 Winter 年末「第九」コンサート

第九 de クリスマス



【指揮】延原武春 【管弦楽】テレマン室内オーケストラ
【合唱】テレマン室内合唱団 【ソプラノ】六車智香 【アルト】渡邊由美子
【テノール】鹿岡晃紀 【バリトン】篠部信宏

【第1部】ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125 【第2部】テレマン：「3つのトランペットとティンパニのための協奏曲」より 第1、2楽章／バッハ：カノン／J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第3番 ト長調 BWV.1048 より第1楽章／ハイドン：セレナーデ／モーツァルト：メヌエット（ディヴェルティメント第17番 二長調 第3楽章）／モーツァルト：モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K.618／ヘンデル：“ハレルヤ・コーラス”（オラトリオ「メサイア」より）／クリスマス・キャロル：「まきびとひつじを」「もろびとこぞりて」

2022.12/25(日) 1:30PM
A 5,500円 B 4,500円 C 売切 (税込)
【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
【主催】ABCテレビ

発売中

洗練された「第九」に加えて、クリスマス・キャロルも！
特別なクリスマスの日になること間違いなし！
1963年の創設から来年で60周年。時代に即した演奏方法で、バロックからベートーヴェンに至る広範なレパートリーを誇るテレマン室内オーケストラ。指揮を務めるのは、楽団創設者の延原武春だ。彼は1982年に、初演当時の編成と作曲者が指定したテンポで「第九」を世界初演奏。その後も、大阪フィルとベートーヴェンの交響曲を全曲演奏するなど、この大作曲家の演奏史に残る名演を多数刻印してきた。
そうした40年の時を経て、解釈も演奏能力も着々と増してきた、洗練の極みと言える「第九」を聴かせてくれるに違いない。また、公演日がクリスマスということもあり、「第九」に続く第2部として、「テレマンのクリスマス名曲集」も。予定演目には、テレマンだけでなく、ハイドンやモーツァルトなども並ぶので、典雅なひとときに酔いしれよう！

21世紀の第九



【指揮】ケン・シェ 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団
【合唱】日本センチュリー合唱団 【ソプラノ】北野加織 【アルト】梶谷栄里子
【テノール】中井亮一 【バリトン】萩原寛明

ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調「合唱付」 op.125

2022.12/28(水) 7:00PM
A 6,000円 B 4,500円 C 売切 (税込)
【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
【主催】ABCテレビ

発売中

3年ぶりに俊才ケン・シェがタクトを振る！
深く、そして高らかに響く、歓びの歌
演奏 国際貢献、地域密着のすべてにおいて新時代のオーケストラを標榜する日本センチュリー交響楽団の「21世紀の第九」。指揮を務めるカナダ出身の俊才ケン・シェは、同響ミュージックアドバイザー・秋山和慶の下で研鑽を積んだこともあり、楽団と深い絆を結んでいる。
彼はまた、このシリーズの前任者・佐渡裕の厚い信頼の下にタクトを受け継ぎ、2011年に初登場。
今回は3年ぶりの再出演となるが、前回の「これぞ、第九！」と誰もが唸った王道の演奏がさらにパワーアップした名演が予想される。なお歌手陣には、北野加織（ソプラノ）、梶谷栄里子（アルト）、萩原寛明（バリトン）ら、学生時代を関西で過ごした面々が多数。そして、藤原歌劇団で数々の主役を務める中井亮一（テノール）も加わり、彩りもいっそう豊かになることだろう！

ザ・シンフォニーホールに響く「歓喜の歌」

クラシック界の年末の風物詩といえば、ベートーヴェンの「第九」演奏会。12月、ザ・シンフォニーホールでも4公演が開催！エネルギッシュな演奏を聴いて、明るい新年を迎えませんか？各公演の聴きどころを紹介します。（文 渡辺謙太郎）

関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」特別演奏会



【指揮】ユルゲン・ヴォルフ 【ソプラノ】老田裕子 【メゾ・ソプラノ】八木寿子
【テノール】畑 儀文 【バリトン】萩原 潤 【合唱】関西フィルハーモニー合唱団
【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調「合唱付」 op.125

2022.12/7(水) 7:00PM
S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円 (税込)
【お問い合わせ】関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911
【主催】公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中

J.S. バッハの後継者のもとで演奏も合唱も活きる！
大スケールの「第九」に心震えること必至。
2020年に創立50周年を迎え、適材適所の人事と企画力を駆使しながら、多彩な活動をますます充実させている関西フィルハーモニー管弦楽団の「第九」特別演奏会。指揮は、世界的オルガニストでもあるユルゲン・ヴォルフだ。彼は、1993年から2019年までドイツ・ライプツィヒの聖ニコライ教会の音楽監督として活躍していたが、この地位は過去にバッハも務めた超重要ポスト。オーケストラはもちろん、歌手や合唱の隅々にまで目の届いた構成力と歌謡性で、荘厳な大伽藍のような「第九」を聴かせてくれるだろう。
歌手陣も、老田裕子（ソプラノ）、八木寿子（メゾ・ソプラノ）、畑儀文（テノール）など、関西にゆかりの深い名手が多数ステイジに華を添える。さらに、名門バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーでもある萩原潤（バリトン）も参加するというから、期待はいよいよ高まる！

大植英次指揮 躍動の第九



【指揮】大植英次 【管弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団
【合唱】大阪フィルハーモニー合唱団 【ソプラノ】秦 茂子 【アルト】福原寿美枝
【テノール】清水徹太郎 【バリトン】萩原 潤

ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調「合唱付」 op.125

2022.12/18(日) 2:00PM
A 7,000円 B 売切 C 売切 (税込)
【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
【主催】ABCテレビ

発売中

生命力あふれる情熱のタクト×極太濃厚サウンド
圧倒的な熱量に瑞々しい感動が押し寄せる！
桂冠指揮者 大植英次との揺るぎない強力タッグで贈る、大阪フィルの「躍動の第九」。エネルギッシュな完全燃焼のタクトで聴き手を魅了する大植と、関西オーケストラの雄が奏でる極太濃厚なサウンドが、一期一会の至福を味わわせてくれるはずだ。
また、大植の「第九」は、テンポと強弱の変化が細部まで徹底されているので、随所で瑞々しい感動を巻き起こすに違いない。
今回はさらに、歌手陣も楽しみな面々が。
パリ国立高等学院を満場一致の首席で卒業した秦茂子（ソプラノ）。演奏だけでなく、後進の指導にも積極的な福原寿美枝（アルト）と清水徹太郎（テノール）。そして、前述の関西フィル「第九」特別演奏会にも出演する萩原潤（バリトン）。これら個性豊かな歌手たちが、大植＆大阪フィルと織りなす極上のマリァージュが実に楽しみだ！

The Symphony Hall 2022 Winter X'masセレクション

古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック スtrings「愛のクリスマス」



【ヴァイオリン】古澤 巖
【弦楽アンサンブル】ベルリン・フィルハーモニック スtrings

ロベルト・ディ・マリーノ：マリーノコンチェルト「第7番」／ホアキン・ロドリゴ：アランフェス協奏曲／クリスマスソング ほか

2022.12/13(火) 2:00PM
S 8,000円 A 6,500円 U25 3,000円(税込) ※U25はチケットぴあのみで発売
【お問い合わせ】キョードーインフォメーション 0570-200-888
【主催】ジェイ・ツー／NHKエンタープライズ／ザ・シンフォニーホール

発売中

**ストラディ・ヴァリウス「サン・ロレンツォ」で披露する
愛に満ちた美音、極上のアンサンブル。**

甘美で心の琴線に触れる調べと切れ味鋭いまばゆい技巧。これまでザ・シンフォニーホールに何度も出演しているおなじみの名ヴァイオリニストの古澤 巖。彼の演奏会が待ち遠しい大阪のファンも少なくないだろう。年末恒例のコンサートで、ベルリン・フィルハーモニックの弦楽器奏者たちとタッグを組み、ヴァイオリン音楽の魅力たっぷりの時間にしていきたい。

おしゃれな帽子がトレードマークの古澤が、今回のために新たに編成されたメンバーと演奏するのは、ロベルト・ディ・マリーノの「マリーノコンチェルト」第7番。ホアキン・ロドリゴのアランフェス協奏曲。ヴァイオリンならではの艶やかな美音が楽しめるだろう。さらにこの時期に合わせて、クリスマスソングも用意されていて、嬉しい。合唱などとはまた異なり、弦楽器だからこそ味わえる心躍る世界。まさに音楽への愛に満ちた午後になるだろう。

ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2022



【オルガン】富田一樹

G.ペリエ：トッカータ 二短調／J.バッヘルベル：シャコンヌ へ短調 P.43／C.サン＝サーンス：アヴェ・マリア／G.フォーレ：ピエ・イエズ／G.F.ヘンデル：オンブラ・マイ・フ／J.S.バッハ：前奏曲とフーガ へ短調 BWV549／J.S.バッハ：天使の群れ、天より来れり BWV607／J.S.バッハ：甘き喜びのうちに BWV608／J.S.バッハ：我らキリストを讃えまつらん BWV611／J.S.バッハ：トッカータとフーガ へ長調 BWV540

2022.12/23(金) 2:00PM
全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

**今年はバッハ、ヘンデル、ベリエ、フォーレも！
パイプオルガンの聖なる調べをじっくりと。**

オルガンの聖なる調べで、今年一年を振り返ってみませんか。毎年人気の年末恒例のオルガンコンサートは、今をときめく人気奏者の富田一樹が登場する。ザ・シンフォニーホールのスイス製のオルガンは壮麗な響きで知られる名楽器だ。輝かしいテクニクと色彩豊かなサウンドを自在に操ってみせる富田による選曲は、クリスマスの厳かで清冽な雰囲気にとりまき、美しい作品が並んでいる。サン＝サーンスの「アヴェ・マリア」やフォーレの「ピエ・イエズ」など、しっかりと響きの中に、天国的な気分を満たされた歌が聞き取れる作品だ。

バッハ国際コンクールの優勝で世界的に名を馳せた富田のバッハは、やはり絶品である。フーガの緻密な造形美も楽しめる「前奏曲とフーガ」へ短調 BWV549 ほか、バッハのクリスマスにちなんだ作品を聴くことができるから大いに期待だ。

聖なる日を優美な音色で彩る ザ・シンフォニーホールのX'masコンサート

街もイルミネーションで煌びやかになり、自然と心が躍るクリスマス。そんな楽しいイベントをよりスペシャルに演出してくれる4つのコンサートをピックアップ！クリスマスにぴったりのプログラムをお届けします！（文 伊藤制子）

ザ・キングズ・シンガーズ コンサート



【出演】ザ・キングズ・シンガーズ

《クリスマス・スペシャルプログラム》
アイルランド民謡：ダニーボーイ／イギリス民謡：グリーンズリープス／レノン＆マッカートニー：イエスタデイ／グルーバー：きよしこの夜／バーリン：ホワイトクリスマス ほか

2022.12/15(木) 7:00PM
全席指定 10,000円(税込)
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

**この冬、英国からの心温まる贈り物！
これぞ世界最高峰、様々なジャンルの名曲で魅了する！**

この冬、英国から世界最高峰のアカペラ・アンサンブルがやってくる！ケンブリッジ大学のキングズ・カレッジの学生を中心に1968年に結成されたザ・キングズ・シンガーズ。男声による幅広い音域や変幻自在な響きが織りなすハーモニーは、世界中の音楽ファンを魅了してきた。人間の声だけで、これほど多彩でドラマティックかつ洗練された音楽が紡ぎ出されるのは、まさに驚異的。そんな彼らによるコンサートは、クリスマスにちなんだ曲をはじめ、心に沁みるレパートリーが揃った。

「きよしこの夜」「ホワイト・クリスマス」を聴くと、思わず一緒に歌いたくなるかもしれない。他には「イエスタデイ」などの人気ナンバー、民謡の「ダニーボーイ」「グリーンズリープス」など日本でも広く親しまれてきた曲が、極上の美声でホールに響き渡るにちがいない。

藤岡幸夫のクリスマス・ファンタジア



【指揮】藤岡幸夫 【ソプラノ】熊谷綾乃(☆) 【オルガン】片桐聖子(★)
【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

アンダーソン：そりすべり／レハール：ワルツ「金と銀」op.79／シュベルト：アヴェ・マリア D.839☆／J.S.バッハ：「主よ、人の望みの喜びよ」★／J.シュトラウスⅡ：喜劇「こころ」より「侯爵様、貴方のようなお方は」☆／エルガー：行進曲「威風堂々」第1番★／ドビュッシー：月の光／ラフマニノフ：鐘 チャイコフスキー：組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」ストラヴィンスキー：組曲「火の鳥」(1919年版) ※オーケストラを使った藤岡さんの解説付き！

2022.12/24(土) 2:00PM
A 5,500円 B 4,500円 C 売切(税込)
【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
【主催】ABCテレビ／朝日友の会

発売中

**藤岡幸夫のトークも大人気の恒例コンサート。
ファンタジーあふれるプログラムが存分に堪能できる！**

オーケストラが紡ぎ出す豪華で豊かな響きは、聴き手を夢のような世界にいざなう魔力を秘めている。時にファンタスティックな輝きを放ち、時にスピーディーな高揚感をもたらし、さらには哀愁に満ちた歌で心をゆさぶってくれる。

今年も、マエストロ・藤岡幸夫率いる関西フィルが「クリスマス・ファンタジア」と題して、華麗なオーケストラ・サウンドを聴かせるマチネが実現する。アンダーソンの「そりすべり」「ドビュッシー「月の光」などは誰もが一度は耳にしたことのある名曲だ。新鋭ソプラノの熊谷綾乃とオルガンの片桐聖子によるシュベルトの「アヴェ・マリア」などの美しい調べにも期待が高まる。

藤岡の解説の後に披露される「火の鳥」では、管弦楽の魔術師でもあるストラヴィンスキーによる華麗なサウンドも、大きな聴きどころとなるだろう。

Best of Orchestra

ザ・シンフォニーホール開館40周年記念



The Symphony Hall × 関西4オケスペシャルコンサート

2022.10/20(木) 7:00PM _ Vol.2

関西フィルハーモニー管弦楽団

感動!
飯守泰次郎
渾身のブルックナー

公演終了

[指揮]飯守泰次郎

ワーグナー:歌劇「タンホイザー」序曲/ブルックナー:交響曲 第4番「ロマンティック」



ザ・シンフォニーホールの40周年を記念してシリーズでお届けしてきた「Best of Orchestra」。大阪交響楽団×原田慶太楼によるバーンスタイン、関西フィルハーモニー管弦楽団×飯守泰次郎による盤石のブルックナー、日本センチュリー交響楽団×秋山和慶の熟練のフランス音楽が繰り広げられ、ザ・シンフォニーホールのファンを大いに沸かせた。今号では、いよいよトリを飾る、大阪フィル×尾高忠明の「英雄の生涯」について紹介する。

2022.11/3(木・祝) 2:00PM _ Vol.3

日本センチュリー交響楽団

円熟!
秋山和慶の
フランス音楽

公演終了

[指揮]秋山和慶

ベルリオーズ:「ローマの謝肉祭」序曲/ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲/ベルリオーズ:幻想交響曲



2022.8/28(日) 2:00PM _ Vol.1

大阪交響楽団

躍動! 気鋭 原田慶太楼の
バーンスタイン

公演終了

[指揮]原田慶太楼

[ソプラノ]森谷真理 [バリトン]大西宇宙

バーンスタイン:交響曲 第1番「エレミア」/ウエスト・サイドストーリー「演奏会用組曲」第1番/「ウエスト・サイドストーリー」より「シンフォニックダンス」ほか



2023.1/29(日) 2:00PM _ Vol.4

大阪フィルハーモニー交響楽団

華麗!! 尾高忠明の緻密な「英雄の生涯」

関西の4つの名門オーケストラが次々に登場する注目シリーズのラストを飾るのが、尾高忠明の指揮する大阪フィルだ!

予定演目もトリにふさわしい堂々たる選曲で、前半は、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」を演奏。指揮者と楽団の緊密性が試される難曲だが、尾高&大阪フィルは、その揺るぎない信頼関係をしなやかな疾走感で存分に示してくれることだろう。

そして後半は、R.シュトラウスの最後の交響詩にあたる「英雄の生涯」を配置。壮麗なオーケストレーションが魅力であり演奏困難でもあるが、尾高の

音楽作りは知的で緻密。大阪フィルが名手揃いということもあり、美しい透明度の高い大伽藍が立ち現れるに違いない。

創設者の朝比奈隆から、大植英次、井上道義へと受け継がれ、2018年から尾高が音楽監督を務める大阪フィル。朝比奈が築いた太い幹に加味された多彩な枝葉の茂りの上に、尾高が今咲かせる大輪の花々をお聴き逃しなく!!

(文 渡辺謙太郎)



指揮 尾高忠明

[指揮]尾高忠明

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」
R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」

2023.1/29(日) 2:00PM

S 7,500円 A 6,500円

B 5,500円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ・リサイタル

アムランの人間的な魅力にも迫る
オール・ショパン・プログラム



**誇張のない自然な表現は
人間的な魅力。だから心に響く**

あたたかい音色が紡ぎ出す柔らかな音楽が聴き手の心にダイレクトに響く。そんなピアニストだ。韓国のチョ・ソンジンが優勝した2015年の第17回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位入賞を果たした。その時点でシャル・リシャール＝アムランの名前を知っていたファンはかなりのピアノ通だろう。2014年にモントリオール国際音楽コンクールとソウル国際音楽コンクールで上位入賞の実績があるものの、世界的にはほぼ無名のピアニストが大舞台でいきなり躍進したのだ。

1989年7月生まれのアムラ

ンは今現在33歳。コンクール時は26歳で、10人のファイナリストの中では最年長タイだった。他は8人が1998年代生まれで、優勝したチョ・ソンジン（1994年5月生まれ）とは5歳違い、第5位入賞の最年少イーケ・トニー・ヤン（1998年12月生まれ）とは10歳違い。メディアへの受け答えもどこか大人びて、「遅れて現れた大型新人」の観があった。

大器晩成。国際コンクールで名を上げる同世代のピアニストたちを尻目に、母国カナダでじっくり音楽と向き合ってきた。日本での初リサイタル時のプログラムに掲載された記事によれば、彼は他人が自分の演奏をどう感じるかを気にするのではなく、自分自身の音楽を自由に作ることを学んだという。彼自身の音楽。つまり彼の滋味深い音と誇張のない自然な表現は、彼自身の人間的な魅力でもあるのだ。だから心に響く。

そのアムランが4年ぶりにザ・シンフォニーホールに戻ってくる。リサイタルはこれで3度目。いずれもオール・ショパン・プログラムだ。前回、コロナ禍で中止となった公演の開催を切望する大阪のファンの声に応えて実現した。

《アンダンテ・スピナートと華麗なる大ボロネーズ》は、もともとピアノとオーケストラのために

[ピアノ]シャルル・リシャール＝アムラン

《オール・ショパン プログラム》アンダンテ・スピナートと華麗なる大ボロネーズ op.22/ピアノ・ソナタ 第2番 変口短調 op.35「葬送」/24の前奏曲 op.28

2022.12/11(日) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 宮本明)

作曲された協奏的な作品で、前半の柔和なアンダンテ・スピナートと、後半の技巧的で華やかなボロネーズの対照が鮮やか。ソナタ第2番は有名な第3楽章の葬送行進曲だけでなく、全4楽章が短調で始まる、深い陰影が刻まれた名作だ。バッハを範に1オクターヴのすべての長短調で書かれた《24の前奏曲》は、個別の風景を持つ24の小品の集合体とも考えられるが、アムランは本誌52号のインタビューで、曲集全体のロジカルな構成にも注目していると述べている。どの曲でも、絢爛な技巧だけではない、人間アムランの魅力が心を揺さぶるはずだ。

ますます順調にキャリアの質と幅を広げ続けるいぶし銀の逸材のいま、を聴き逃してはならない。



次回のTSH Big Bandは、他ではなかなか体感できない“タンゴ”の名曲づくし!

ビッグバンドの元気溢れる演奏
タンゴならではの情熱も込めて

The Symphony Hall Big Band (以下TSHBB)の2023年、第1発目の公演が決定!「タンゴ・タンゴ・タンゴ」と、3度も言いたくなるくらい、タンゴづくしのプログラムが揃った。結成から7年目を迎え、着実にファンを獲得しているTSHBBの新天地とは?

今回はバンドを、引っ張る、菊池寿人とバンドを支える、宮川真由美に、今回の公演を紹介してもらった。

【菊池寿人/トランペット】

タンゴは学生の頃、当時流行っていたイージーリスニングのオーケストラでよく聴いていた音楽で、とても好きなジャンルのひとつです。

そしてビッグ・バンドでタンゴと言いますと社交ダンスの大会ダンスホール等、踊りの伴奏として演奏することが多かったですね。



トランペット 菊池寿人

タンゴには情熱的な曲、哀愁を帯びた曲などたくさんの名曲がありますが、この名曲の数々を集めてビッグ・バンド編成で行うコンサートはあまり他になかったような気がします。

だから今回のコンサートは「タンゴ」をテーマに企画致しました。TSHBBの特徴を生かしたアレンジも加えてそれぞれの曲がよりお楽しみいただける内容になっています。

素敵なホールの響き、ビッグ・バンドの元気溢れる演奏と共に、タンゴならではの情熱も込めてお届けできたらと思います。

【宮川真由美/ピアノ】

ジャズという音楽のジャンルの上でミュージシャンは、いよいよ全ての垣根を取り払い、一つの大きな幸せな世界、真の自由な音楽表現を目指しているように感じています。

西洋の音楽理論で学んだドレミファソラシドは、陰陽五行説からも捉えることができ、今や、ラテ



ピアノ 宮川真由美

[演奏]The Symphony Hall Big Band

リベルタンゴ/ラ・クンパルシータ/想いの届く日/ジェラシー/ボル・ウナ・カベサ/アディオス・ソニーノ/夜のタンゴ/小さな喫茶店/オブリビオン/真珠探りのタンゴ ほか

2023.3/12(日) 2:00PM

全席指定 7,500円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/24(木) 一般発売:11/27(日)

ンやファンクはもろろんの事、5拍子、7拍子も、複合拍子も、中近東や東欧諸国のリズムも、変拍子と表現するのは、今や違和感を覚えるほど、躍動感溢れるグルーヴを生み出しています。ジャズというひとつの視点から出発し、それは宇宙的に無限大に、作曲家、編曲者、演奏者が表現できる自由。リズム、メロディー、ハーモニーの3つの力が、協調して響き生み出され空間をも越える音世界を、響くザ・シンフォニーホールで奏でます。

今回は、情熱的なリズムや旋律の魅力的なタンゴというジャンルをキーワードにしたコラボレーションです。どうぞご期待くださいませ。

三浦一馬 五重奏団 PIAZZOLLA Standards & Beyond

三浦一馬
&
山中惇史
Interview
スペシャルインタビュー[前編]



ピアノ 山中惇史



バンドネオン 三浦一馬

バンドネオンの俊才が挑む
ピアソラの伝統の先にある洗練された表現

山中くんがいれば何が起こっても大丈夫って気がします!
「タンゴの革命児」アストル・ピアソラが愛した五重奏団(キンテート)編成で来年2月に登場する、日本が誇るバンドネオン奏者・三浦一馬。そんな彼と、今回のグループの要を務める、盟友・ピアニスト・山中惇史に、20世紀音楽の枠組みを超えて孤高の道を歩んだピアソラの音楽について語り合っていた。

——お二人の最初の出会いはい?

山中 確か2016年で、サックスの上野耕平くんが参加したユニットの編曲を三浦くんが担当していて、楽譜を見せてもらったら凄く美しくて…この人はタダモノじゃないなと思う(笑)、それで楽屋を訪ねて話しかけたのが最初でした。

三浦 彼はステージの上でただ漠然と演奏するのではなく、今何が起きているかが重要なのはっきりと理解している。新しい曲を

やってもいつもそれが見えている。近年は共演も増えてきましたが、山中くんがいれば何が起こっても大丈夫って気がします!

——昨年が生誕100年、そして今年は没後30年と2年にわたって続いたピアソラ・イヤーも締めくくりの時を迎えました。

三浦 まさしくこの2年はピアソラの作品をあらためて振り返り、そして今後を見据える絶好の機会でした。作曲者であり演奏者でもある彼自身が残した「オリジナル」が素晴らしいの言うまでもありませんが、そこに新しい解釈やテキストを加えることで発見や、今までになかった答えを導き出すことができたと思います。

山中 僕自身は三浦くんに出会うまでは、有名な(ヘリベルタンゴ)や(タンティ・アンニ・プリマ)くらいしか知らなかったのですが、彼と一緒にいろんな曲を聴いたり弾いたりしているうちに、ピアソラの音楽には時代を超えた「普遍性」があると感じるようになりました。それと、和音進行やリズムのとり方などしっかりとした「型」がある一方で、それを打ち破るような予想もつかない作風の曲もあるところが面白い。特に《タンゴの歴史》という4曲からなる作品の第4曲「現代のコンサート」がぶっ飛んでいて、大好きです。

[バンドネオン]三浦一馬 [ヴァイオリン]石田泰尚
[コントラバス]高橋洋太 [ギター]大坪純平
[ピアノ]山中惇史

悪魔のロマンス/ミケランジェロ70/天使のイントロダクション/
天使のミロンガ ほか

2023.2/4(土) 7:00PM

全席指定 5,500円(税込)

[お問い合わせ]Mitt 03-6265-3201

[主催]日本コロムビア/ザ・シンフォニーホール

発売中

[後編は次号へ。プログラムや、公演への意気込みについてをお届けします]

ハリウッド・ フェスティバル・ オーケストラ

ニューイヤーコンサート!

H O L L Y W O O D
F E S T I V A L
O R C H E S T R A



指揮 ロイド・バトラー

ゲスト歌手 ビリー・キング

エンターテインメントの本場アメリカから、
スター・オーケストラが初来演!

新年のお祝いムードをさらに盛り上げるように、ザ・シンフォニーホールの1月は、華やかなニューイヤーコンサートが目白押しだ。1月6日にはアメリカから、ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ(以下HFO)が、名作映画の名曲をプログラムにたっぷり携えてザ・シンフォニーホールに初来演する!

HFOは今回で6回目の来日。本場オーケストラの迫力満点の演奏と映画、テレビ、ミュージカルに至る幅広いレパートリーで、毎回各地で完売が続出。会場は拍手が鳴りやまないほどの熱気に溢れるなど、好評を博してきた。

映画音楽をスクリーンに映し出される実際の映像とともに楽しめるこの公演。誰もが聴いたことのある名曲の名旋律が次々と演奏されるから、最初から最後まで一瞬も聴き逃したくない。

「インディ・ジョーンズ」の高らかなファンファーレ、血沸き肉躍る「ロッキー」のテーマ、「グレン・ミラー物語」のスイング感にあふれたノリのいいジャズ、映像と共に贈る「風と共に去りぬ」「豪情」「スタンド・バイ・ミー」…もちろん懐かしの名曲だけでなく、「ハリ・ポッター」「ミッシェン・イン・ポッスブル」「タイタニック」などの、あのテーマ曲、まで、幅広い世代で楽しめることも、この公演の魅力だろう。

ゲストには、HFOの来日公演では4度に渡ってゲスト出演しているビリー・キング。指揮は、アトランタ交響楽団、ピッツバーグ交響楽団など、名門オーケストラに客演し、オペラやミュージカルの分野でも評価が高い、ロイド・バトラーが務める。

[指揮]ロイド・バトラー
[管弦楽]ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ
[ゲスト歌手]ビリー・キング

【オードリー・ヘップバーン特集】ティファニーで朝食を/ローマの休日/シャレード 【ジョン・ウィリアムズの世界】E.T./スーパーマン/インディ・ジョーンズ 【珠玉の名曲集】ひまわり/風と共に去りぬ/ライムライト/豪情/ニュー・シネマ・パラダイス/ミッシェン・イン・ポッスブル/ロッキー/タイタニック ほか

2023.1/6(金) 7:00PM

S 10,000円 A 8,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



THE WINTER CONCERT ～クリスマスの贈り物～〈Bach & Tchaikovsky〉

クラシック音楽の殿堂で楽しむ
本格的なバレエ公演

[バレエ]西岡憲吾、福谷葉子、枡富元穂、上嶋啓悟 ほか [チェロ]堀江牧生
[管弦楽]ニューイヤー祝祭オーケストラ (シンフォニア・アルシスOSAKA)
[指揮]守山俊吾 [語り手]小倉未知代

《第1部》[B.ach]／《第2部》チャイコフスキー：三大バレエより抜粋「くるみ割り人形」より／「白鳥の湖」より／「眠れる森の美女」より

2022.12/12 (月) 6:30PM

S 8,000円 A 6,000円 B 3,000円 学生割 3000円 (A席) (税込)

※未就学児をお連れのお客様には、バレエ団より割引サービスがございます。

下記の西岡・福谷バレエ団までご連絡をお願い致します。

※学生割席は、当日学生証のご提示をお願いします。

[お問い合わせ]西岡・福谷バレエ団 080-1520-6488

https://www.nishiokafukutani.com/

[主催]一般社団法人 西岡・福谷バレエ団

発売中



京都を拠点とし積極的に活動する「西岡・福谷バレエ団」がクラシック音楽の殿堂であるザ・シンフォニーホールで、本格的なバレエ作品をご覧いただくクリスマスの贈り物「THE WINTER CONCERT」を開催します。

第1部では「パッハとバレエ」の融合として、モスクワ音楽院及びウィーン国立大学院卒業後、国際コンクールでグランプリ獲得やボリショイ劇場管弦楽団団員として活躍した堀江牧生（チェロ）をソリストに招き、彼の演奏するチェロ無伴奏ソナタに西岡憲吾が振り付けた高貴なバレエをお楽しみいただきます。

第2部はチャイコフスキーの三大バレエの名場面を選び、一夜にして「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」をご鑑賞いただけるプログラムとなっております。

1 作品ごとに音楽と踊りの解説を交えながら、チャイコフスキーのバレエ音楽の真髄を福谷葉子のプロデュースで美しく、高く、華やかに味わっていただきます。

指揮はサンクトペテルブルクの歌劇場で8年間首席客演指揮者として活躍し、ロイヤル・ニュージラランドバレエ団や国立ソプラノ歌劇場バレエの指揮者も務めた守山俊吾、シンフォニア・アルシスOSAKAの、ホールに響き渡るシンフォニックサウンドでお楽しみ下さい。

ニューイヤー祝祭コンサート オペラアリアとバレエの饗宴 Vol.8

絢爛豪華！
8年目を迎える祝祭コンサート

[指揮]守山俊吾 [ソプラノ]汐崎郁子、末廣亜矢子、中村容子、西側真理子
[メゾ・ソプラノ]西畑賀世、渡辺美和 [バレエ]カンパニー でこぼこ
[管弦楽]ニューイヤー祝祭オーケストラ (シンフォニア・アルシスOSAKA)

ラヴェル：ボレロ／J.シュトラウスⅡ世「美しく青きドナウ」／ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」より 今の歌声は／ベッリーニ：歌劇「ノルマ」より 清らかな女神よ／ヴェルディ：歌劇「運命の力」より 第4幕 神よ平和を与えたまえ／ドリーブ：歌劇「ラクメ」より 鐘の歌／ブッチェーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より 私のお父さん ほか

2023.1/3 (火) 2:00PM

※3歳のお子様からご入場頂けます。

S 6,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税込)

[お問い合わせ]ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067

[主催]国際交流協会

発売中



ザ・シンフォニーホールでの1月3日の公演としてすっかり定着し恒例となった「ニューイヤー祝祭コンサート」。8年目を迎える今回は、海外で学び、海外のステージに立った経験があるオペラ界のプリマドンナ6名（ソプラノ、メゾ・ソプラノ）が名アリアでステージを彩ります。

このシリーズに欠かせないのが、第1回目から連続で出演し、ローザンヌ国際バレエコンクール入賞者を輩出したカンパニーでこぼこ。オーブニングを飾るチャイコフスキー「デジレ王子とオーロラ姫のパ・ド・ドウ」の華やかな舞いで一気に皆様の魅了します！そしてニューイヤーを象徴する円舞曲美しく青きドナウでは、お客様をウィーン宮廷内のような世界に誘い、色彩溢れるラヴェルの「ボレロ」では、群舞の美しさと躍動感に満ちたサウンドをお届けしていきます。

指揮は、2022年6月にザ・シンフォニーホールで開催された、人道支援コンサート「ウクライナの平和を祈ろう！」を指揮し、その模様が「24時間テレビ」でも放映されるなど話題を集めた守山俊吾が担当する。ロシア、ウクライナなど東欧の国立劇場の舞台でオペラ&バレエを指揮してきた実力を発揮するという。

『絢爛豪華』なステージで、お正月をお楽しみいただきたい。

イタリア交響楽団

Orchestra Haydn di Bolzano e Trento-Italia

チョン・ミン&イタリア交響楽団が4年ぶりに登場！
新星ピアニストとの共演にも大注目！



歌心や知性の高さも
しっかりと堪能したい

1960年にイタリア政府文化省の援助で創設されて以来、欧州各地の音楽祭やコンクールなどに積極的に出演し、華々しい活躍を続けているイタリア交響楽団（正式名称：ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団）。楽団の本拠地があるボルツァーノは、イタリアの中で最もドイツ圏に近く、人間性も質実剛健。そのため、イタリア風の明るい音色とドイツ風の重厚な音楽性を備えると言われる実力派オケが、この度、4年ぶりに待望の再来日を果たすことが決定した！

指揮者は前回に続いての登場となるチョン・ミン。ドイツに生まれ、フランスや韓国で弦楽器やピアノを学んだが、指揮者を志したのは20歳を過ぎてからのこと。それは父親に世界的指揮者のチョン・ミョンフンを持つことが目標だった。

指揮者は前回に続いての登場となるチョン・ミン。ドイツに生まれ、フランスや韓国で弦楽器やピアノを学んだが、指揮者を志したのは20歳を過ぎてからのこと。それは父親に世界的指揮者のチョン・ミョンフンを持つことが目標だった。

レッシャーになっていたためそうだが、最終的には指揮をした欲望に勝てなかったという。

そんなチョンは、日本では東京フィルハーモニー交響楽団や九州交響楽団などと共演が数多いので、ご存じの方も多いことだろう。彼はまた、韓国やイタリアなどのオペラハウスでも類まれな才能を発揮しており、その瑞々しくしなやかな解釈は、この公演のオーブニングに演奏されるロッシーニの歌劇「ブルスキニー」序曲でも存分に発揮されることだろう。

今回はまた、続く協奏曲にも注目の若手ピアニストが出演。21年にイタリアの難関・ブゾーニ国際コンクールを制した韓国のバク・ジェホンだ。7歳でピアノを弾き始め、9歳で初リサイタルを開いた早熟の天才で、2022年には初CDをリリース。その収録曲のひとつで、超難曲として名高いベートーヴェンの「ハンマークラヴィア」ソナタを圧倒的な技巧で完璧に弾き切ったことは記憶に新しい。

今回の予定演目は、同じ作曲家のピアノ協奏曲第3番。第3楽章のコーダの急速なテンポの中で要求される至難な技巧などに期待が高まるが、この作品は作曲家が残

[指揮]チョン・ミン [ピアノ]バク・ジェホン
[管弦楽]イタリア交響楽団

ロッシーニ：歌劇「ブルスキニー」序曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37
ベートーヴェン：交響曲 第3番 op.55 「英雄」

2023.1/30 (月) 7:00PM

S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円 C 4,000円

S席ペア券 18,000円 (税込)

[お問い合わせ]日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545

[主催]日本アーティスト／ザ・シンフォニーホール

発売中

した唯一の短調ピアノ協奏曲ということもあり、その歌心や知性の高さもしっかりと堪能したい。

そして後半のトリを飾るのが、ベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」。前回の来日公演では同じ作曲家の第7番を演奏し、「舞踏の聖化」の異名にふさわしい、しなやかに振幅する名演を聴かせてくれた。今回の「英雄」は、ベートーヴェンの最重要作品のひとつであり、指揮者としての技巧と音楽性がはつきりと浮かび上がる名曲であり難曲。世界から注目を集める若き俊才の、現在、を心ゆくまで満喫しよう！！

(文 渡辺謙太郎)